

こんばちは三原じゅん子です

NO. 26 2012年 11月 3日

日本共産党 名張市議会議員

三原 じゅん子

すずらん台西4-202

電話 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！



ります。

達の元気な姿が見られる運動会に応援に行きました。中学校と高校は春の体育祭、保育所と小学校は秋の運動会です。子ども達は元気に一生懸命身、走って踊って友達を応援して、そのひたむきさや頑張る姿にいつも元気をもらいます。次世代を担う子ども達が、心豊に育ち、安心して暮らせる名張市となるように頑張ります。

子ども



9月議会報告



環境対策費について

空き地の管理条例の迅速な手続きを実行し、安心できる住環境を守ることを求める。



- 市内団地の空き地の雑草除去等について、土地の所有者に適切な管理をお願いしているが、中々整備がすすまない状況がある。
- 近隣住民から、視界が悪く物騒であり、虫害にも悩まされているという声が後を絶たない。
- これからの季節は枯草となり火災も心配される。



6月にはハガキで通知し、指導、勧告を行い、改善を求めていきます。10月には消防からも指導を行います。また、自治会クリーン隊の組織があり、土地の持ち主から委託を受け費用を徴収して処理している取組を、地域まちづくり組織に紹介していきたい。



学校の耐震改修費について

南海トラフ地震が予想される中、今後の計画を再度見直し早急に進めることを求める。

- 市内の小・中学校の耐震化は、財政難を理由に未だ75%と遅れている。
(2012年4月全国84.4%、三重県96.8%、名張市74.7%)
- 未改修の学校は

つつじヶ丘小(校舎)
比奈知小(体育館・校舎)
薦原小(体育館・校舎)
美旗小(体育館・校舎)
桔梗が丘東小(体育館・校舎)
桔梗が丘小(体育館・校舎)
桔梗が丘南小(体育館・校舎)
箕曲小(校舎)
桔梗中(校舎)
赤目中(体育館・校舎)
北中(体育館・昇降口棟)



S56年以前に建設され、震度6強でis値が0.7未満の建物の耐震化を予定している。H24年度は錦生小学校と比奈知小学校の体育館の改修を行う。

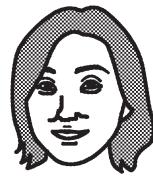


is値とは構造耐震指標のことをいい、建物の構造的な耐震性能を評価する指標です
is値が大きいほど耐震性が高く0.6以上だと「大規模地震で倒壊、又は崩壊する危険性が低い」とされています
0.6未満の学校施設は耐震改修促進法により改修の努力義務があり、国庫補助の対象になっています



保育士の雇用は正規職員で!

- 9月議会の補正予算で、保育士の緊急雇用が提案されました。
赤目保育所に2人、大屋戸保育所に1人
 - 現在の待機児童は88人
 - 10月～来年の3月まで、1度雇用されると継続はできないしくみ



これまで、保育所の民営化を進める際、市は待機児童解消のためと言っていましたが、民営化にしても、保育所の面積や保育士の確保が進まない限り、問題は解決しないことを指摘してきました。

また、安定した保育を実施するためにも、保育士の継続した雇用を守ることが重要です。緊急雇用は半年のみの雇用で、継続や再度の雇用はできません。こども達にとって、安心できる質のいい保育を実施するためにも、保育士の正規雇用を求めました。



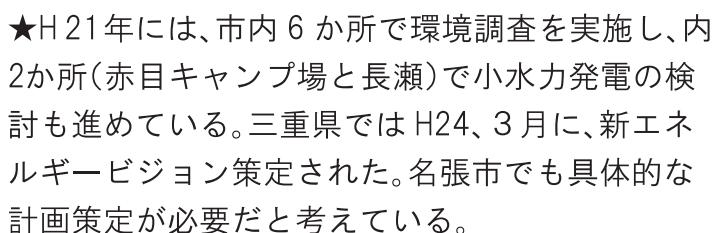
地域資源を活かした、自然エネルギーを

- ★木質バイオマスとして、ペレットを使ったエネルギーの取組をどうすすめる？
 - ★地域資源を活かしたエネルギー政策で、森林・土地を守り、市内経済の活性化につながるような、「名張市エネルギー政策の実施計画」策定を！

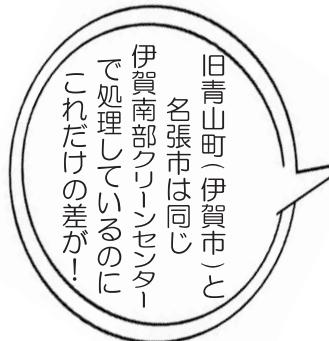


★ペレット活用はCO₂削減と再生可能エネルギー事業にむけた設計を考えている。

「ふれあい」の空調で、ペレットをエネルギー源とするボイラーセットの実施計画を策定予定。



家庭ごみ袋の 価格引き下げを



市民の協力に応え、H25年度から価格の見直しを行う。

	伊賀市	名張市
特大 45ℓ	20円	68円
大 30ℓ	15円	45円
中 20ℓ	10円	28円
小 10ℓ	8円	13円
特小 5ℓ	5円	6円

「ごみの減量のために、高い価格設定」ということでこれまで実施された家庭ごみ袋の有料化で、年間売り上げが1億円にも及んでいます。この新たな市の収入は、市民の福祉や教育にとの説明でしたが、この間、財政難を理由に削減が続いています。このまま、市民に負担ばかりを強いるのではなく、早期に家庭ごみ袋の価格を下げる求めました。

ごみの減量のためには、生産の段階からごみとなるものを作らないことが必要です。過剰包装や梱包のいらない地元のもので地産地消をすすめ、ごみを根本から減らし、あわせて地域の活性化をはかることを求めました。

この間市民から「名張市に困った事を相談しても、人手不足でとかお金がないのでと言われる」との声が後を絶ちません。小・中学校耐震化も先送りとなっています。

財政難と自助・共助ばかりでは、行政への不信と生活や将来への不安は高まるばかりです。住民の生活が大変な時ほど、自治体本来の役割を果たすため、市民の声に応えられる職員体制を整え、暮らしを守る社会保障と福祉の増進を強く求めるものです。

**中期財政見通しで23年度は、収支差引0となつていま
すが、決算では3億4千万円余の黒字となつています。歳
入総額が前年度比3.%減少となつて いる中での黒字決算で
す。これは、本来するべき事業
が実施されず、市民の要望や
ニーズが後回しになつて いる
ものと思われます。**

「H23年度決算」に
反対した理由は